



## 片頭痛について

一次性頭痛(器質的疾患によらない頭痛)の中で、代表的なものに片頭痛があります。年間有病率は8%程度と推定されており、遭遇率の高い疾患です。女性の有病率は男性の3.6倍で、20~50歳代に多いといわれています。片頭痛という名称は頭の片側が痛むことに由来しますが、両側性に頭痛を経験することも珍しくありません。頭痛に前兆が先行することがあり、頭痛が起こるより前にキラキラした光やギザギザの光(閃輝暗点)がみえるなどの症状が出現します。

片頭痛発作時は日常的な運動により頭痛が増強し日常生活に支障をきたす、吐き気・嘔吐を伴うことが多い、光や音に対して普段よりも過敏になる、などの特徴があります。

### 片頭痛発作の特徴

- ・中等度以上(寝込みたい)
- ・体の動きで増悪
- ・吐き気やおう吐
- ・光や音に対する過敏



日本神経学会ホームページより、一部改変

治療は、頭痛発作が起こった時の鎮痛治療(急性期療法)と頭痛がない日も含めてあらかじめお薬を使用して、頭痛発作を起こりにくくする、もしくは軽減させる治療(予防療法)に分けられます。急性期治療には一般的な非ステロイド性抗炎症薬やアセトアミノフェンのほか、古典的なトリプタン製剤や新しく開発されたジタン系製剤が使用されています。ただし、片頭痛の患者さんではこのような急性期治療薬を使用しすぎることによって頭痛が悪化したり、慢性化したりすることがあります(薬剤使用過多による頭痛)。

そのため、頭痛発作が頻回な場合や急性期治療薬の使用頻度が多い場合には発作予防薬を使用します。使用される発作予防薬には多くの種類があり、また近年、抗CGRP抗体製剤という注射製剤も新しく開発され、使用が可能となりました。適切な予防薬を使用することで頭痛発作を軽減することが可能です。



当院で採用している抗CGRP抗体製剤

頭痛でお困りの際は脳神経内科外来までご相談ください。

脳神経内科:荒川将史

寿泉堂綜合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂綜合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または  
☎024-932-6363 (代表) にお問い合わせください。